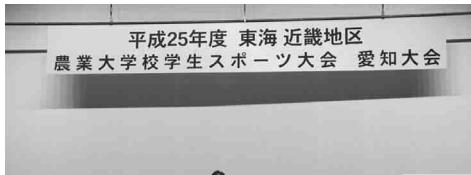


第29号（通算第38号）



東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会
愛知大会に500名が集い熱戦を繰り広げる—

5月30日、31日の2日間にわたり、岡崎中央総合公園と愛知県岡崎総合運動場の2会場において開催しました。

ており、本年度は愛知県が当番県となつたことから、昨年度から学生と職員が一丸となり準備を進め、大会に臨みました。

バドミントン、テニスの6種目です。例年、“打倒愛知”を目標に参加する他校に対し、本校学生も日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し、白熱した試合が繰り広げられました。

また、30日の夜は、蒲郡市内のホテルに一堂に会し、なごやかな立食バーティーとなりました。9校の学生が参加したアトラクションもあり、更に交流を

○ 奮鬥結果

平成25年度の審査結果		
団体 の 部	優 勝	バレーボール、卓球、バトミントン、テニス
	準優勝	野球
	3 位	バスケットボール
個人 の 部	優 勝	卓球男子S、バトミントン女子S、同男子W、テニス男子W
	準優勝	卓球男子S
	3 位	卓球女子S、同男子W、テニス男子S

また、東京での大会に参加した本校の学生5名は、全国の農大生と交流を深めることで、様々な刺激を受け一回り大きく成長することができました。

の絆を深めることができました。本校学生は昨年度を上回る成績を挙げ、愛知大会を成功裏に終えることができました。

平成25年1月21日～22日に岐阜県で開催された「東海・近畿プロック農業大学校学生研究及び意見発表会」に本校の代表として農学科の学生2名が参加しました。

研究発表の部には、果樹専攻2年生の石口祐希君、意見発表会の部に露地野菜専攻1年生の村昌宣君が出場しました。石口君は、「イチジクの接ぎ木によ

る品種更新手法の検討」と題して、高接ぎによる樹井ドーフィンのサマーレッドへの一挙更新の有効性について発表しました。中村君は、「伝える繋げる農家になる!!」

